

おあた

2026

No. 141

令和8年5月発行



3月定例会開催

3月定例会は、3日から16日までの14日間の会期で開かれました。内容は、村長提出案件27件（条例制定3件、条例改正6件、補正予算5件、令和8年度一般会計等当初予算8件、人事案件4件、村道路線廃止1件）および議員発議6件、合わせて33件が提出され、審議した結果、原案のとおり可決しました。なお、請願は2件、陳情は3件提出され、審査の結果は11ページのとおりです。

3月2日に押山義則議員が議員辞職願を提出し、同日付けで副議長が許可しました。

3月定例会初日の3月3日に議長選挙が行われ、館下憲一議員が議長に就任しました。

議長 館下憲一



3月3日に大玉村議会議長に就任いたしました。身の引き締まる思いとともに重責を感じております。

村は、(仮称)大玉スマートインナーチェンジの事業化や(仮称)子育て支援センター整備など持続可能な村づくりに向けて、まさに今変わる時です。議会も機を逸することなく、議会の使命である議事機関の役割を果たし、村執行機関と両輪で推し進めてまいります。

さて、大玉村議会は、「見える議会」や「次代を担う子どもたちや若者をはじめ村民参加を促進する議会」を目指し、広聴機能の強化や災害時の議会機能の維持などの取り組みを進めます。「議会が変わったな」との声をいただけるよう努めてまいりますので、より一層のご支援をお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

皆さんの声を広く聴くために

3月16日に議会広報編集特別委員会を廃止し、議会広報広聴特別委員会を設置しました。議長を除く全議員が広報班または広聴班に所属して活動します。

委員長 武田 悦子 副委員長 渡邊 初治



三瓶賢一 渡邊啓子 武田悦子 佐原佐百合(班長)



渡邊初治 松本昇 本多保夫 菅原貴子 須藤軍蔵 斎藤信一(班長)

議会構成が変わりました

安達地方広域行政組合議会議員 館下 憲一 斎藤 信一
総務文教常任委員会副委員長 菅原 貴子

3月定例会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第3号	おおたみらい人材定着奨学金基金条例の制定について	原案可決
議案第4号	大玉村手話言語条例の制定について	原案可決
議案第5号	大玉村工場等立地促進条例の制定について	原案可決
議案第6号	大玉村行政手続条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	大玉村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	大玉村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	令和7年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第12号	令和7年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第13号	令和7年度大玉村玉井財産区特別会計補正予算について	原案可決
議案第14号	令和7年度大玉村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第15号	令和7年度大玉村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第16号	令和8年度大玉村一般会計予算について	原案可決
議案第17号	令和8年度大玉村国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第18号	令和8年度大玉村玉井財産区特別会計予算について	原案可決
議案第19号	令和8年度大玉村土地取得特別会計予算について	原案可決
議案第20号	令和8年度大玉村介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第21号	令和8年度大玉村後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第22号	令和8年度大玉村水道事業会計予算について	原案可決
議案第23号	令和8年度大玉村農業集落排水事業会計予算について	原案可決
議案第24号	村道路線の廃止について	原案可決
議案第25号	副村長の選任について	同 意
議案第26号	区長等の委嘱について	同 意
議案第27号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意
議案第28号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第29号	区長代理の委嘱について	同 意
議員発議第1号	大玉村議会基本条例の一部を改正する条例について	原案可決
議員発議第2号	議会広報編集特別委員会廃止に関する決議について	原案可決
議員発議第3号	議会広報広聴特別委員会設置に関する決議について	原案可決
議員発議第4号	最低賃金を引き上げやすい環境整備のために、中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書について	原案可決
議員発議第5号	院所・事業所の継続とケア労働者が働き続けられる環境整備のため、診療報酬・介護報酬など定価格の引き上げを求める意見書について	原案可決
議員発議第6号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書について	原案可決

令和8年度事業

自然を活かした 快適な暮らし

快適な住空間の形成

住宅取得支援事業補助金 1,460万円 地域整備に要する経費 439万円
スマートIC等の整備に要する経費 5,252万円 道路等維持補修工事費 8,000万円

美しい環境の保全

再生可能エネルギー利用促進事業 360万円

交通基盤の確保

公共交通運行に要する経費 2,357万円

夢を育てる 教育・子育て

子ども・子育て支援

こども家庭センター(母子保健)に要する経費 1,984万円
(仮称)子育て支援センターに要する経費 1億1,600万円

教育環境の整備

学校ICTタブレット端末購入費 6,012万円

学校給食費補助金 6,500万円
幼稚園弁当給食業務委託 998万円

地域ぐるみの学び・スポーツの村づくり

総合型地域スポーツクラブ 120万円 ふくしま駅伝 150万円 放課後子ども教室に要する経費 233万円

力強い産業の 復興・創生

議会が注目する



農業の振興

あだたらの恵ブランド力向上事業委託 582万円 地域活性化起業人事業 710万円
有害鳥獣被害防止対策 438万円 地域おこし協力隊（農業分野）事業 1,929万円



商工業の振興

ふるさと納税事業 2,491万円
観光・物産 PR 実行委員会補助金 300万円
アットホームおおたま管理事業 1,103万円



林業の振興

広葉樹林再生事業 1,813万円 遠藤ヶ滝遊歩道整備工事 1,160万円
ふれあい村民の森管理運営事業 93万円

みんなで支える 安心生活



健康長寿の推進

老人クラブ活動事業補助金 147万円 若年がん患者在宅療養支援事業助成金 10万円
高齢者生きがい活動（いきいきさくら）支援事業委託 1,036万円



暮らしの安全

消防団の活動に要する経費 3,342万円
防犯対策に要する経費 578万円
水害ハザードマップ作成業務委託 880万円



絆づくりの推進

台湾交流事業 970万円
地域づくり活動サポート事業補助金 40万円
むらおこし活性化事業補助金 170万円

令和8年度

前年度比3.3%↑

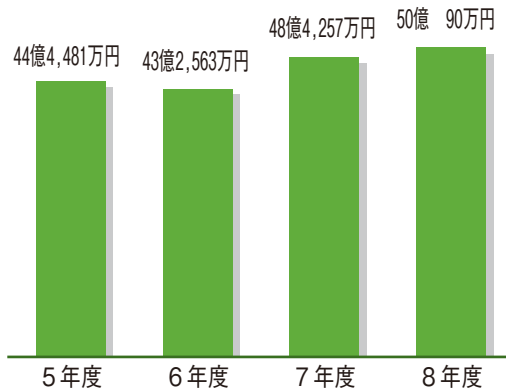
一般会計

50億90万円

令和8年度 予算額

会計名	予算額	
一般会計	50億 90万円	
国民健康保険特別会計	7億9,697万円	
玉井財産区特別会計	822万円	
土地取得特別会計	62万円	
介護保険特別会計	9億1,767万円	
後期高齢者医療特別会計	1億1,905万円	
水道事業会計	(収益的支出)	1億6,596万円
	(資本的支出)	2億 385万円
農業集落排水事業会計	(収益的支出)	1億3,075万円
	(資本的支出)	5,220万円

一般会計予算の推移



す。の審査意見は7ページから10ページで

3/16

本会議

- ・議案審議
- ・予算審査特別委員会の審査結果報告

3/12

予算審査特別委員会

- ・分科会の審査報告
- ・予算審査特別委員会の審査結果を集約

3/10~

総務文教分科会
産業厚生分科会

- ・予算審査

3/9

予算審査特別委員会

- ・総務文教分科会
産業厚生分科会の設置

本会議

- ・総括質疑
- ・予算審査特別委員会の設置

3/3

本会議

- ・議案の一括上程
- ・提案理由の説明

します。

当初予算は、次のように議会で審議

当初予算が
決まるまで!!

新年度予算を問う

分科会質疑

トピックマップ

分科会では、村政全般にわたり多くの質疑がありました。その中から、いくつか紹介します。

総務文教分科会

総務課

台湾交流事業



3月10日

問 台湾の子どもたちを受け入れるホストファミリーが少なく、毎年苦労している。台湾に行く中学2年生の家庭に協力をお願いできないか。

答 台湾に行く中学2年生を含め全生徒の家庭に協力をお願いしている。今後、アンケート調査を行い、検討していきたい。

日本で最も美しい大玉村づくり大賞

問 表彰の要件は。

答 地域の将来を考え、住民の創意工夫により自主的に活動する団体や個人を各行政区長からの推薦により表彰している。団体や個人からの推薦も可能とするなど、より多くの方が応募できるように見直していきたい。



大賞の大玉12区防犯協力会（10月19日）

企画財政課

（仮称）ペルー・マチユピチュの日 記念行事

問 開催の目的は。

答 マチユピチュ村との友好交流を広く村民の皆さんに知っていただくため、毎年10月26日前後にペルー大使館の協力を得ながらイベントを実施する。

むらおこし活性化事業補助金

問 新しく助成される補助金の内容は。

答 組などで行われる歳の神で振る舞われる甘酒などの経費に1万円を補助する。



1月7日に行われる歳の神

みんなぼうまなbee

問 みんなぼうまなbeeとは。

答 福島民報社が提供する小中学生が活用できる総合デジタル教材である。簡単に新聞を作成できるほか、過去の記事を調べることができる。幅広い学習に利用できる。昨年7月に村は福島民報社と連携協力協定を締結している。

文化財保護

問 県では文化財資料を保管する保管場所に苦慮していると聞く。あだたらふるさとホールはどうなのか。

答 村内外から寄贈された貴重な文化財資料が増えていることから、保管場所は必要である。



産業厚生分科会

人間ドックとPETがん検診

問 5歳刻みで同じ年齢で受診対象となっている人間ドックとPETがん検診の年齢を変えることはできないか。

答 4月からは人間ドック対象の翌年をPETがん検診の対象とし、高度ながん検診を受診する機会を増やす。

若年がん患者在宅療養支援事業

問 支援の内容は。

答 18歳から40歳未満の自宅で療養生活を送る終末期がん患者を対象に、介護サービスに要する経費の支援を4月から実施する。



3月10日

こども誰でも通園制度

問 4月から始まる制度は。

答 保育所に通っていない生後6カ月から3歳未満の子どもが保育施設を利用できる制度である。子ども同士の間わりや家庭以外の人との交流を通して、子どもの健やかな成長を支援する。村内では大玉村保育所で実施する。



保育所で楽しく過ごす子どもたち

地域活性化起業人

問 地域活性化起業人（企業派遣型）とは。

答 農業の持続的な経営と新規就農者の確保などに取り組む。民間企業の社員が企業のノウハウや知見を生かして地域活性化を図る。期間は、3年間。



橋梁維持

問 根崎橋改修工事の内容は。

答 鋼部材の塗替え塗装の工事を行う。工事は川の水位が下がる11月から3月にかけて行う予定である。

水道料金

問 水道料金の今後の見通しは。

答 水道料金は昭和56年から据え置かれており、将来は赤字が予想される。令和8年度中に値上げの方向性を決めたい。



根崎橋

スマートーC周辺整備

問 国道4号沿線の工業集積拠点における企業誘致は、どのように進めるか。

答 地権者や地元の皆さまに計画内容を丁寧に説明していく。地権者からの了解が得られ次第、企業誘致に入っていきたい。パンフレット作成や県主催のイベントへの参加、民間のデータバンク活用などを行う。



豪雨災害の現地調査（令和4年9月6日）

予算審査特別委員会の審査意見

総務部



① これまでさまざまな改善が図られてきているが、引き続き各種事業の周知方法の工夫を図り、より多くの村民が活用できるように努められたい。

② 台湾交流事務事業については、ホストファミリーの確保などに課題が見受けられる。教育委員会や学校と連携を図りながら、今後の交流を深められるよう努められたい。

教育部

① ふるさとホール管理運営事務事業については、村内外から寄贈された貴重な文化財資料が増えていることから、適切に保管できる場所の確保を検討されたい。

住民福祉部

① 乳幼児健診における尿中塩分検査や食事指導は、生活習慣病予防対策として大きな意味を持つことから、広く村民に減塩を啓発し健康長寿の取り組みの柱とされたい。

② 介護予防の重要性が広く知られている。村で行われている生きがいデイサービスや元気づくり会も大きな役割を果たしているが、より充実したものとするための方策を検討されたい。

③ 自主防災組織は地域コミュニティづくりの核となることから、組織づくり支援の充実に取り組まれたい。

産業建設部

① スマートインターチェンジ設置の取り組みとともに、将来を見据えた周辺整備や安全対策に努められたい。

② 支障木対策は個人や村が行うべきものと、それぞれに重要だが、個々の状況に応じて柔軟に対応されたい。

③ 村の基幹産業の農業において、特に米は重要である。ブランド米を柱に、大玉村産米全体の知名度向上や底上げにつながる取り組みを進められたい。

令和7年度 3月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	△608万円	60億3,188万円
国民健康保険特別会計	200万円	8億6,041万円
玉井財産区特別会計	303万円	983万円
介護保険特別会計	364万円	9億7,375万円
後期高齢者医療特別会計	1,409万円	1億1,587万円

議会が注目する補正予算

堆肥センターの堆肥舎屋根改修工事費

補正額500万円

問

屋根材に何を使用するのか。耐用年数は。

答

ガルバリウム鋼板を使用する。堆肥の発効過程でアンモニアが発生することから、耐用年数は約15年程度とみている。

人事案件

副村長の選任の同意

現副村長の武田正男氏の3月31日の任期満了に伴い、後任の副村長として菅野大佑^{だいすけ}氏を人格、識見ともに優れていると認め、副村長の選任について同意した。

菅野氏は平成17年に福島県に採用され、企画調整総室企画調整課などに勤務し、県からの派遣により令和8年4月1日から副村長に就任した。

区長・区長代理の委嘱の同意

4月からの新たな区長・区長代理の委嘱について同意した。任期は令和8年4月1日から令和10年3月31日までの2年間。

人権擁護委員候補者の推薦

新任の伊藤一男氏（大山字明路内）の法務大臣への推薦について意見を求められ、適任であると答申した。任期は令和8年7月1日から令和11年6月30日までの3年間。

3月定例会に提出された請願

件名	提出者	紹介議員	付託委員会	審査結果
「最低賃金を引き上げやすい環境整備のために、中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書」の提出について	二本松市亀谷 二本松地方労働組合総連合議長 佐原 成典	須藤 軍蔵	産業厚生	採 択
「院所・事業所の継続とケア労働者が働き続けられる環境整備のため、診療報酬・介護報酬など公定価格の引き上げを求める意見書」の提出について	二本松市亀谷 二本松地方労働組合総連合議長 佐原 成典	須藤 軍蔵	産業厚生	採 択

3月定例会に提出された陳情

件名	提出者	付託委員会	審査結果
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	二本松市高田 日本労働組合総連合会福島県連合会 二本松・安達地区連合会 議長 高橋 誉	産業厚生	採 択
全国学力・学習状況調査の悉皆実施中止を求める意見書送付を求める陳情	二本松市亀谷 福島県教職員組合安達支部 支部長 高橋 尚人	総務文教	不採択
東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	郡山市鶴見担 福島県を明るくする会 郡山支部 代表 廣川 淳也	総務文教	不採択

議員発議

意見書3件を提出しました

意見書	提出先
最低賃金を引き上げやすい環境整備のために、中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣
院所・事業所の継続とケア労働者が働き続けられる環境整備のため、診療報酬・介護報酬など公定価格の引き上げを求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、こども家庭庁長官
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島労働局長

※意見書…地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめたもの。地方自治法第99条には、「地方自治体の議会は、当該普通公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる」と規定されている。具体的には、議員が発議して本会議にはかり、議長名で関係機関に提出する。

議会の役割を果たすには

Business Continuity Plan

大玉村議会BCP（業務継続計画）

災害時に議会や議員は、どう対応し、どう行動するべきかを定める業務継続計画（BCP）がある議会が増えています。

今年度は東日本大震災と原発事故から15年です。地震や集中豪雨、林野火災などの災害は時と場所を選ばず各地で頻発しています。

大玉村議会は昨年の9月に議会BCP検討会を立ち上げました。勉強会や議論を経て、3月に大玉村議会BCPを策定しました。これからは防災に関する勉強会を実施し、災害時における議会や議員の行動指針や優先業務を検証していきます。

見える議会 次代を担う子どもたちや若者に関心を 持つてもらえる議会をめざして

3月定例会では、議会基本条例を改正しました。議会基本条例は議会が村民の皆さんの負託に的確に応えられるように議会や議員の活動原則などを定めた議会の最高規範となるものです。

改正した議会基本条

例には、条例の理念となる前文に議会の目指す姿を明記し、条文に災害時の議会の対応や広聴機能の強化などを加えました。広報広聴特別委員会の広聴班を中心に村民の皆さんと話し合う場を持てるように進めていきます。



3月定例会では、3月5日に6人、6日に3人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約した内容は、質問順に13ページから21ページです。

さいとう 齋藤	しんいち 信一	1. 伝統行事の継承を 2. スマートIC 周辺開発は	13ページ
たけだ 武田	えつこ 悦子	1. 高齢者の安心安全を確かなものに 2. 農業を持続可能な産業に	14ページ
すどう 須藤	ぐんぞう 軍蔵	1. 暮らしの安全と平和 2. 村道の支障木伐採の対策を	15ページ
すがはら 菅原	たかこ 貴子	1. ごみ排出量削減の取り組みは 2. こども誰でも通園制度の体制は	16ページ
わたなべ 渡邊	けいこ 啓子	1. デマンドタクシーの現状と課題は 2. 子どもの読書活動推進のために	17ページ
さんべい 三瓶	けんいち 賢一	1. 文化・スポーツ選手の応援を 2. 地域防災力の強化を	18ページ
まつもと 松本	のぼる 昇	1. 稲作農家への苗購入補助を問う 2. 国際交流の課題と今後は	19ページ
ほんた 本多	やすお 保夫	1. 県の水稲「福島59号」 2. スクールバス運行規程の変更を	20ページ
さわら 佐原	さゆり 百合	1. 利用しやすい通勤通学バスに 2. 安心して子育てできる保育体制を	21ページ

一般質問

ここが聞きたい！
9人の議員が登壇

※一般質問…議員が村行財政全般にわたって、村に対し説明を求めまたは所信をたずること。大玉村議会の一般質問は一人30分以内で、答弁時間は含まない。

伝統行事の継承を

質問趣旨

地域の伝統は、村の文化と人のつながりを支える重要な財産である。実態把握と継承支援の在り方を問う。

齋藤 信一 議員



かつては村の至る所で行われていた歳の神

齋藤 地域の伝統行事は、郷土愛や地域の絆を育む大切な文化であるが、人口減少や高齢化により縮小と廃止が進んでいる。現状をどのように把握しているのか伺う。

教育部長 歳の神は平成26年の28カ所から令和8年には16カ所に減少している。他の行事も同様の傾向が見られる。

齋藤 実態を把握しなければ継承の対策も講じられない。調査や記録を進める考えはないか伺う。

教育部長 伝統行事を残していくために、調査等で把握に努めていきたい。

齋藤 甘酒や菓子振る舞いなど、地域の行事を支える助成制度を創設できないか。

総務部長 ふるさとづくり助成事業補助金交付要綱を改正し、4月から運用を予定している。

産業建設部長 安心して利用できるインフラ整備は重要であると認識している。整備には多額の費用が見込まれるため、国や県の補助金などの財源確保に努め、関係機関と調査研究を進めながら追加の対策をしていきたい。

スマートIC周辺開発は

質問趣旨

交通量の増加を見据えた通学路の安全対策と地域振興の在り方を問う。

齋藤 大山小学校の通学路にあるボックスカルバートは幅員が狭く危険であり、将来を見据えた改良が必要ではないか。

産業建設部長 安心して利用できるインフラ整備は重要であると認識している。整備には多額の費用が見込まれるため、国や県の補助金などの財源確保に努め、関係機関と調査研究を進めながら追加の対策をしていきたい。

齋藤 ETC2・0を活用した社会実験が行われている。社会実験は道の駅に限られているが、あだたらの里直売所を社会実験の対象として国や関係機関に働きかける考えは。

産業建設部長 あだたらの里直売所周辺を地域振興拠点とした基本計画書の策定を進めている。基本計画がまとまった後に、要望活動等を行っていきたい。



歩道設置で歩行者の安全を

産業建設部長 安全対策の必要性は認識している。今後も引き続き進める考えは。

他に次の質問がありました。
・住民票等のコンビニ交付サービスと財政運営について

高齢者の安心安全を確かなものに

武田悦子 議員



質問趣旨

地域包括ケアシステムをさらに深化させ、高齢になっても安心して暮らせる村づくりをどのように進めるのか。

武田 村では地域包括ケアシステムをどのように進めてきたのか。

住民福祉部長 村社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携し、生活支援や介護予防、認知症施策などの支援体制の整備に取り組んできた。

武田 村で行われている介護予防事業は。

住民福祉部長 保健師などによる個別指導支援や地区サロンにおける健康指導、元気づくり会、頭と体の健康倶楽部などにより介護予防と重症化予防の推進

武田 いきいきさくらの開催日を見直して、福祉センターさくらに高年齢者が気軽に集える日を設けられないか。

住民福祉部長 村社会福祉協議会と協議しながら検討したい。

武田 住民が参加して検討を進めてきた有償ボランティアの見通しは。

住民福祉部長 「ちよいボラ」は制度の検討が終わり、今後は村社会福祉協議会が実施主体となり、7月から8月に実施できるように進めている。



気軽に集える日を福祉センターさくらに

農業を持続可能な産業に

質問趣旨

村の基幹産業である農業。ブランド米の生産やPRが行われているが、将来にわたって農業をどう守っていくのか。

武田 ブランド米「あだたらの恵」の生産者数は。

産業課長 令和7年は3人、8年は新たに2人が加わる予定である。

武田 あだたらの恵はどのような意味を持つコメなのか。

産業課長 あだたらの恵を通して高品質な村産米全体の需要を牽引し、大玉村全体の知名度向上を目指している。

武田 村産米全体の底上げにどのくらいの期間を見込んでいるか。

産業課長 何年までにはなく、消費者が大玉村の米をおいしい、大玉村の米を買おうという意識が浸透するまで続けたい。

武田 今年も水不足が懸念される。農家の頑張りだけでは解決できない。先を見据えた対策が必要ではないか。

産業建設部長 渇水時に地域ごとに用水を流す番水を検討している。土地改良区と協議しながらどのような対策ができるか検討していきたい。

武田 村の基幹産業である農業をどう守っていくのか。

村長 農業は村の宝である景観を守り、村づくりの大きな部分を占める。農業振興公社の体制を強化し、将来的に農業をしっかり守ることを施策の中心に据え進めていきたい。



村産米全体の底上げを

暮らしの安全と平和

質問趣旨

「過去に目を閉ざす者は、現在にも目を閉ざすことになる。」
安全と平和が保たれなければ、希望のある暮らしは営めない。

須藤 軍蔵 議員



須藤 日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞の受賞を機に核兵器のない社会を目指す機運が高まったが、世界では逆行した動きがある。村では、広島平和記念式典に子どもたちを派遣しているが、改めて平和教育の認識を伺う。

教育長 震災と原発事故の教訓や核の問題を記念日というような過去のものにするのではなく、現在、未来につながる課題に対して事実に基づいた学びと体験的な活動を通して平和教育の推進に引き続き取り組んでいきたい。

須藤 スマートIC建設の盛り土に15年前の原発事故で発生した汚染除去土壌が使われるのではないかとの報道がある。考えを伺う。

村長 除染土は貯蔵開始から30年以内で県外に搬出する法律があることは確認しているが、県と同様に村は、スマートICに受け入れることは一切考えていない。



広島から平和の尊さを学ぶ

村道の支障木伐採の対策を

質問趣旨

里山沿いの村道に支障木が多く見られる。安全に通行できるように一歩踏み込んだ柔軟な対策を求める。

須藤 道路法などに定められている支障木伐採の基準は、
産業建設部長 道路法では、車道の上空4・5メートルの範囲内には障害となるものを置いてはならない空間と定められている。
須藤 村の支障木伐採の基準は、
産業建設部長 車道の上空4・5メートルの範囲内にある自動車の安全走行に支障を及ぼす枝葉を伐採の対象としている。

須藤 個人の所有物である立ち木が高齢化や所有者が不明などにより管理ができていないところもある。安全に道路を通行できるように一歩進んだ対策が必要ではないか。
村長 さまざまな事情があることは理解している。一律に基準を作ることは難しいので、状況に応じて判断し対応していきたい。まきストーブを利用する方を募り、伐採した支障木の処理を担っていただけないか、再生可能エネルギーの観点からも検討していきたい。



村道にかかる支障木

ごみ排出量削減の取り組みは

質問趣旨

増え続けるごみを削減する目標として2030年度までに2015年度排出量のCO₂を半減するとしている。



菅原 貴子 議員

菅原 地球温暖化対策の一つであるごみ排出量削減の周知は図られているのか。

住民福祉部長 ごみを減らすには、可燃ごみを減らすことが重要である。広報紙に月ごとのごみ排出量の昨年との比較や使用済みの食用油の回収量を掲載して意識づけに努めている。また、ごみ分別の冊子の配布やホームページに掲載するなど周知を図っている。



回収された使用済み食用油

3月分使用済み天ぷら油の回収量	15kg
と本年度累計	2,801kg
合計	2,916kg
本年度累計	4,286kg

※回収場所は、役場、保健センター、地域包括支援センター、福祉センターさくら、改葬センター、大山公民館、遊樂所、農業リポートセンター、JA大玉支店です。回収場所には、専用の回収箱が置いてあります。
※その他の回収場所は、村内での前記以外の回収場所です。

菅原 リチウムイオン電池やボタン型電池の捨て方が分かりにくい。分かりやすい周知方法は。

住民福祉部長 ごみ分別の冊子に表記はないが、電池やバッテリーの出し方が掲載してあるので参考にしていただきたい。令和8年度中に冊子のリニューアルを予定しているのので、改めてリチウムイオン電池等の廃棄方法の注意喚起を図ってみたい。

菅原 利用者が空き情報の検索や予約ができることも誰でも通園制度支援システムの利用の周知は、いつ頃を予定しているのか。

住民福祉部長 事業者の認可事務や実施要綱の整備を進めている。利用見込者数から受入れの人員やスペースなど、現行の体制で実施できると考えている。

菅原 体制の整備は図られているのか。

住民福祉部長 利用見込み数に変更はない。

菅原 こども誰でも通園制度の1日の利用見込数は、ゼロ歳児が1人、1歳児が2人、2歳児が1人と子ども子育て支援事業計画に示されているが、見込み数に変更はないか。

質問趣旨
4月から始まるこども誰でも通園制度の体制の整備は図られているのか。

こども誰でも通園制度の体制は

住民福祉部長 利用者がスムーズに手続ができるよう、できるだけ早い時期に周知を図っていききたい。

大玉村 / こども誰でも通園制度

保護者の就労の有無に関わらず、保育所等に通っていない3歳未満のお子さんを保育所等に預けることができる新たな制度です。

- 利用対象者**
 - 大玉村に住所がある方
 - 保育所等に通っていない
 - 0歳6ヶ月～満3歳未満のこども
- 利用可能時間**
 - 月10時間を上限とし1時間単位で利用可能
- 利用料金**
 - 無料
- 実施施設**
 - 大玉村保育所 大玉村玉井字台19-2
 - Tel. 0243-48-3600

デマンドタクシーの現状と課題は

質問趣旨

デマンドタクシーは、高齢者や車を持たない住民の足となる。利便性の向上や利用促進について課題はないか。

わたなべ けいこ 議員



高齢者運転免許証自主返納支援事業

大玉村高齢者運転免許証自主返納支援事業

大玉村では、高齢者運転の交通事故の抑止を図るため、運転免許証を自主返納し、運転免許証返納証明書が交付された方に、デマンドタクシー利用券を交付し、運転免許証の自主返納者を支援します。

- 対象者
 - ・村内在住の65歳以上の方
 - ・平成30年4月以降に運転免許証を自主返納された方
 - ・運転経歴証明書をお持ちの方
- 支援内容
 - ・たまちゃん（デマンド）タクシー券（最大45,000円分）
 - ・大玉村共通商品券（10,000円分）

渡邊 電話予約の他にAIによる予約配車システムが導入され、スマートフォンなどで24時間予約が可能になった。AIによる予約の割合は。

総務部長 1月から12月まででは23・8%である。

渡邊 村では運転免許証を自主返納した方にデマンドタクシー利用券50枚を3カ年交付している。近年の運転免許証自主返納者の人数を伺う。

住民福祉部長 令和7年度は2月末で16名、6年度は29名、5年度は26名である。

渡邊 自主返納者一人当たりのデマンドタクシーの年間平均利用回数を伺う。

住民福祉部長 令和7年度は1月末時点で10回、6年度と5年度は9回である。

渡邊 タクシーの方が良いという方もいる。デマンドタクシー利用券かタクシー券のどちらかを選べるようにできないか。

住民福祉部長 デマンドタクシーの利用促進を図る意味でも、当面は現行どおりのデマンドタクシー利用券を継続していきたい。

子どもの読書活動推進のために

質問趣旨

子どもたちの身近に本があり、手に取りやすく、より本にふれる機会を増やすことが大切である。

渡邊 子どもの読書活動推進の取り組みは。

教育部長 子ども司書養成講座を開催し、小学生の高学年を中心に図書の種類法を学んだり、本の紹介用ポップやしおりを作ったりしている。今年度は、自分のお勧め本を紹介し、参加者が読んでみたい本に投票するミニプロジェクトを開催した。

渡邊 小学校の移動図書館の利用状況は。

生涯学習課長 令和7年度の運行回数は両小学校合計で16回、利用者数は2243名、貸出し冊数は3159冊である。

渡邊 移動図書館車の老朽化が著しく、雨漏り対策として車内にビ

ニールシートやポリバケツを置いて対応していると聞く。車体のさびも目立ち、早めの更新が必要ではないか。

教育部長 移動図書館車は郡山市から譲り受けてから29年、初年度

登録から40年が経過しているため更新を検討している。

企画財政課長 新車購入の他、スクールバスの更新の際に車内を改造しての対応も可能か検討している。



子どもたちに夢を運ぶ あたらら号

文化・スポーツ選手の応援を

三瓶賢一

議員



質問趣旨

文化人やスポーツマンの活躍は、未来に向けて村民の夢であり希望である。活躍する選手を応援できないか。

三瓶 部活動の地域移行はどのようになっているか。
教育長 地域の方々の協力を受け、部活動指導員をバスケットボール部やバレーボール部、吹奏楽部に配置している。剣道部は大玉剣友会

三瓶 上位大会になると旅費や宿泊費がかかる。出場する場合に補助をしているのか何う。
教育部長 中体連が主催する体育大会の東北大会以上に出場する場合は、学校教育活動の一環として、選手や引率者の旅費や宿泊費を村が支出している。

三瓶 大玉村文化及びスポーツ大会等出場選手激励金の5年間の交付実績を伺う。
教育総務課長 東北大会出場は延べ137名、全国大会出場が延べ69名である。



地域の力で子どもたちの応援を

に所属し、「おおたま学園剣道部」という、地域クラブの資格で今後、中体連に出場できるようにし、地域展開のモデルケースにしていきたい。
三瓶 ふるさと納税を活用して、上位大会に出場する選手を応援できないか。
教育部長 担当課と協議していきたい。

地域防災力の強化を

質問趣旨

消防団や自主防災組織は地域を守る要となる。地域の安全安心を守るための取り組みは。

三瓶 大玉村消防団の定数は179名である。欠員の数と原因を伺う。
住民福祉部長 自動車部を含め欠員が出ている分団は7分団あり、25名である。ライフスタイルや就労形態の変化などにより消防団員の不足は全国的な課題になっている。
三瓶 消防団員を増やすには、団員だけでなく行政区と協力すべきではないか。
住民福祉部長 行政区長にお願いしていくとともに、消防団の必要性や重要性を理解いただけるように努めていきたい。

三瓶 自主防災組織の必要性と村の支援は。

住民福祉部長 災害時に地域住民は、自分の身は自分で守る自助、共に協力し合う共助の要となる。村では資機材の購入助成や研修会の実施などを通して支援していきたい。



地域を守る要の消防団

稲作農家への苗購入補助を問う

質問趣旨

玉井育苗センターの撤退により、苗を買って米作りをしてきた農家が大変心配している。今後の村の考えは。

松本 昇
議員



松本 J Aから苗を買っている稲作農家への補助はどのように行うのか。

産業建設部長 令和8年度は福島市からの苗箱の輸送に係る値上がり分として硬化苗は300円、芽出し苗は150円を補助する。

松本 自分で苗を作る稲作農家にも補助を行うべきではないか。

産業建設部長 自家育苗農家に補助の考えは今のところないが、物価や燃料の高騰など社会情勢を注視しながら、必要に応じて支援していきたい。



自家育苗農家にも補助を

国際交流の課題と今後は

質問趣旨

台湾の大竹國民中学やマチュピチュ村との交流は、多大なる効果をもたらしたが、交流の在り方を変えることも大事では。

松本 大竹國民中学と11年間にわたり交流しているが、問題はなかったか。

総務課長 特に大きな問題はないが、ホームステイを受入れる家族が少なく苦勞している。

松本 大竹國民中学との交流を大玉中の修学旅行にできないか。

村長 過去に中学校に修学旅行の提案をしたが、国内の修学旅行を優先したいとのことだった。

松本 マチュピチュ村と学生との交流は。

村長 8年前に派遣した中学生が、「人生観が変わった」「何事にも前向きに取り組めるようになった」と感想を述べている。もう一

度中学生もしくは高校生を派遣できないか検討している。

松本 野内与吉顕彰プレート設置の確認に派遣した人数と費用は。

総務課長 プレート制作実行委員2名を派遣した。2名分の費用約113万円はクラウドファンディングで集まった資金より支出した。

松本 野内与吉顕彰プレート除幕式ツアーに参加した人数と費用は。

総務部長 公式訪問団員9名と一般訪問団員13名合わせて22名である。公式訪問団員の渡航費用の1183万円のうち975万円が補助金として県から交付見込

みである。村の持ち出しは概算で347万4千円である。



野内与吉顕彰プレート除幕式（10月27日）

県の水稲「福島59号」

本多 保夫 議員



質問趣旨

地球温暖化の影響や今年の雪不足により水不足が懸念され、米の不作が心配される。村の対応を問う。

本多 県は、独自に開発した「福島59号」を奨励品種として採用すると発表した。村への情報提供や問い合わせはあるのか。
産業建設部長 令和10年から一般栽培を目指しているため、現時点では報道発表以外の情報はない。
本多 粒が大きく、白未熟粒が少なく、暑さにも強い品種である。栽培が可能となった場合、どのように生産者へ働きかけていく考えなのか。

産業建設部長 県からの方針は届いていないが、生産者に情報提供を行い、県と生産者をつなぐ役割を担うことになると考えている。
本多 県のブランド米「福、笑い」は生産者の選定に課題があったと聞くが、村の選定基準等の考えはあるのか伺う。
産業建設部長 県の奨励品種であり県が決めた方針に基づき、村では応募される方に情報提供していくようになる。



待たれる高温障害に強い水稲品種

スクールバス運行規程の変更を

質問趣旨

スクールバス運行規程によりスクールバスを利用できない子どもたちをどう考えるのか。

本多 スクールバスの3キロ以上の規程は平成18年から見直されていないが、検討は行われてきたのか。
教育部長 規程の見直しはしていないが、関係者や運転手と打ち合わせを行い、毎年運行ルートなどを決めて見直しを図っている。
教育長 距離を短縮した場合の座席数や台数、最初に乗車した児童が長時間乗車する状況などの検討を教育委員会での内部で行っている。今後も引き続き検討していきたい。
本多 クマが山間部や平地を問わず出没している。子どもの命を守る観点から規程を変更すべきではないか。
教育長 バスの距離の見直しだけで対応できないものではないので、その他の対応も含めながら検討していきたい。
本多 規程の変更をなぜやらないのか。
教育長 変更する気がないわけではない。子どもたちの育ちの中で大事な体力や自ら命を守る行動も必要であり、両面から今後も検討を続けたい。

教育長 距離を短縮した場合の座席数や台数、最初に乗車した児童が長時間乗車する状況などの検討を教育委員会での内部で行っている。今後も引き続き検討していきたい。
本多 クマが山間部や平地を問わず出没している。子どもの命を守る観点から規程を変更すべきではないか。



子どもたちが安全に通学できるように

利用しやすい通勤通学バスに

質問趣旨

通勤通学バスの利用が伸び悩んでいる。利用が増えるような工夫は進められないか。

佐原 佐百合 議員



佐原 通勤通学バスの利用状況は。

総務部長 実証運行をしている大山線は、1日平均で朝便2・3人、夕便0・1人で伸び悩んでいる。

佐原 利用者が伸び悩んでいる現状をどのように改善していくのか。

総務部長 高校に進学する子どもたちの保護者に中学校を通して通勤通学バスを案内し周知に努めるなど、利用者の増加を目指したい。

佐原 高校生の負担が少なく利用できるように、割引制度や定期券などを導入できないか。

総務部長 回数券の枚数を増やすことは考えられるが、定期券は価格設定や発行手続きに課題がある。公共交通会議で検討していきたい。

佐原 要支援者や要介護者、障がいのある方はデマンドタクシーを無料で利用できる。同じように無料にできないか。

総務部長 これまでの広域生活バスの代替路線として開始した経緯があり、料金も同じく運用している。アンケート調査を踏まえ、公共交通会議で検討していきたい。

佐原 待機児童が出たときにどう対応しているのか。

住民福祉部長 条例の定数は、保育士の配置基準や居室面積基準により現状の規模で算出している。定員はあくまで上限であり、受け入れは可能だが、職員配置や安全面を考慮し、余裕をもった運用をしている。

佐原 育児休業中は、預けていた上の子が原則として保育所を退所

する。村外の認可保育所を利用できる広域入所制度や在宅子育て奨励金の活用などを案内している。

安心して子育てできる保育体制を

質問趣旨

保育所の入所要件を確認するとともに、子育て家族の実情や不安、悩みに寄り添った保育体制を問う。

佐原 保育所の定員150名に対し、実際の利用者数は下回っているのはなぜか。

住民福祉部長 条例の定数は、保育士の配置基準や居室面積基準により現状の規模で算出している。定員はあくまで上限であり、受け入れは可能だが、職員配置や安全面を考慮し、余裕をもった運用をしている。

住民福祉部長 育児休業を取得している場合は、家庭での保育が可能であるため、負担をおかけしていることは承知しているが原則として退所をお願いしている。保育を必要とする方が一人でも多く利用できるように運用したい。

しなければならない理由は。

佐原 保育所の一時預かり保育とこども誰でも通園制度の違いを踏まえ、混乱しないような周知ができないか。

住民福祉部長 混乱することなく必要なサービスが受けられるように周知方法を検討していきたい。



利用者を待つ通勤通学バス（本宮駅西口）



楽しく遊ぶ子どもたち

第17回 つなぐ つながる 笑顔

表紙は、小椋さんご家族です。93歳のサヨさん、恵一さんとセツさんご夫妻、信吾さんと瞳さんご夫妻、新しくなった大玉中の制服姿の中学1年生の希美さん、音楽と図工、歌うことが好きな大山小学校4年生の遥加さん、真新しいランドセルを背負ったピカピカの1年生の悠吾くんの8人家族です。

小椋家では、父の日や母の日、誕生日にはみんなが集まってお祝いをするそうです。

小椋家の皆さんに、家族への思いなどを伺いました。



頑張りしたいこと

悠吾くん 勉強を頑張る。パパとお風呂で足し算をしているよ。

遥加さん リレーを頑張りたいです。学習発表会で十二神楽の舞をやりたいです。

希美さん 大玉中の新しい制服がかわいいので嬉しいです。勉強と陸上部の部活動を両立し、頑張ります。

将来の夢は

悠吾くん 宇宙飛行士か、警察官になりたい。

遥加さん 小さい子が好きなので幼稚園の先生になりたいです。

希美さん おじいちゃんとおばあちゃんに長生きしてもらいたいで、お医者さんになりたいです。

みんなの思い

信吾さん 子育ては毎日が勉強です。家族が多いと、情報や視点



が広がり、人生が豊かになります。目標に向かって頑張る子どもたちの背中を押してあげたいです。

瞳さん 子どもたちにはいろんなことにチャレンジして、悩んだり迷ったりした時には相談してほしいです。

恵一さん みんなで暮らしていると毎日が面白い。何より家族が大切。家族があつて村や県がある。

サヨさん ひ孫は素直でめんげよ。みんなでいられることが幸せだ



ない。自分で料理したり、ザック(お手玉)を縫ったり、自由にさせてもらってるのが一番だない。

セツさん 瞳ちゃんがおばあちゃんを買いたい物にいつも連れて行ってくれるのでありがたいです。

信吾さん 通学路に外灯が少なく、不審者や交通事故が心配です。中学校にもスクールバスがあればいいと思います。

広報班のひとこと

NHKの朝ドラは、「風、薫る」。体を動かすと気持ちがいい5月です。私はバレーボールが好きです。孫たちはサッカーに夢中で、一生懸命にボールを追いかける姿を見ると嬉しくなります。

9人の孫たちが勉強やスポーツなどいろんなことに挑戦する姿をみんなで応援するのが楽しみです。

武田 悦子



編集
議会広報広聴特別委員会広報班

- 委員長 武田 悦子
- 班長 佐原 百合
- 委員 渡邊 啓子
- 委員 三瓶 賢一

発行
大玉村議会 議長 館下 憲一
福島県安達郡大玉村玉井字屋内70
TEL0243-124-8103
FAX0243-148-3137